

北高シラバス 「 音楽Ⅰ 」

単位数	2	普通科・生産食品科・1年	履修	必修・選択
教科書	Tutti+		副教材等	
学習の到達目標			授業の進め方	履修の条件・進路
1 音楽の様々な活動を通して音楽を愛好する心情を身に付ける。			1 歌唱は二重唱以上を基本とします。 2 器楽は二重奏以上を基本とします。	1 美術Ⅰまたは音楽Ⅰのいずれかを選択できます。
2 歌唱・器楽・鑑賞の能力や技術を伸ばし、豊かな感性を身に付ける。				2 音楽系進学者に適切です。

	学 習 内 容	学習のポイント	学習の到達目標
1 学 期	歌唱 ・校歌 ・少年時代 ・世界に一つだけの花 ・イタリア歌曲 他 (音楽理論)	・合唱を通して、ハーモニーの美しさと、歌うことの楽しさや喜びを感じながら、正しい発声方法を学び、音楽を創り上げていく喜びを味わう。 ・リズム・音程・フレーズ等について正しく理解する。 *既習曲の中から任意の曲を一曲選び、実技テストを行う。	・リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫してどのように歌うか表現意図をもっている。
2 学 期	器楽(リコーダー) ・スケール ・威風堂々 ・木星 ・リベルタンゴ ・夏の思い出 ・シチリアーナ ・いつも何度でも 他	・基礎練習を通して、正しい運指について理解する。 ・リコーダーアンサンブルを通して、ハーモニーの美しさと、演奏する楽しさを感じ取り、協力して音楽を創り上げていく喜びを味わう。 *既習曲の中から任意の曲を一曲選び、実技テストを行う。	・基礎練習を通して、リコーダーの特色や音色に関心を持って取り組もうとしている。 ・音色や奏法の特徴を生かした演奏方法を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。
3 学 期	鑑賞 ・演奏形態 ・モーツァルト ・ベートーヴェン ・ムソルグスキー 他	・バロックから現代まで、音楽史に沿って幅広く音楽鑑賞するとともに、各音楽家の生きた時代の文化や人生についても理解を深める。 *西洋音楽史に関する筆記試験を行う。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取って、楽曲を解釈し、それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
取組 の ア ド バ イ ス	○授業の取組 1 個人・全体練習を通して自主的に学習する。 2 個別指導を積極的に受ける。 ○家庭学習 1 放課後等を活用して、練習する。 ○その他のアドバイス 1 テレビやラジオでクラシックの音楽番組を積極的に鑑賞する。		
評 価 方 法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。(100点法)		
	知識・技能	ワークシート、授業における発表等をもとにして、音楽の要素を理解し、各楽器の演奏の仕方や特徴が身についているか等で評価します。	
	思考・判断・表現	ワークシートをもとに、感じたことや考えたことなどを知識・技能を基に演奏を通して表現できているか等で評価します。	
	主体的に学習に取り組む態度	授業への取組・出席状況を確認するとともに、主体的に演奏を工夫し追求しようとしているか、他の楽器の音や役割を理解し、協力して演奏することができているか等で評価します。	

単位数	2	普通科2年・I型	履修	必修修・選択
教科書	Tutti+		副教材等	
学習の到達目標			授業の進め方	履修の条件・進路
諸活動を通して、音楽を創り上げる喜びを味わったり個性豊かに表現したりする能力を伸ばし、積極性を養い、自主的に取り組み活動する。			ギターの基礎練習は、全体練習と個人練習に分けて進めます。	1 美術Ⅰまたは音楽Ⅰのいずれかを選択できます。 2 音楽系進学者に適切です。

	学 習 内 容	学習のポイント	学習の到達目標
1 学 期	器楽（ギター） ・音階練習 ・実技テスト 歌唱 ・瑠璃色の地球 ・糸 ・Tomorrow ・いつも何度でも ・実技テスト	・運指・音階等の基本練習をしっかりと行います。 ・二部合唱を通して、ハーモニーの美しさや、歌うことの楽しさや喜びを感じながら、正しい発声方法を学び、音楽を創り上げていく喜びを味わいます。 ・リズム・音程・フレーズ等について正しく理解します。 *既習曲の中から任意の曲を一曲選び、実技テストを行う。	・基本練習を通して、ギターの特色や音色に関心を持って取り組んでいる。
2 学 期	「なごり雪」 「Summer」等 ・コード練習 ・全体練習 ・個人練習 ・個別指導 ・採譜 ・実技テスト	・個人練習と個別指導を中心に、より積極的に学習する。 ・中間発表を通じて、お互いの仕上がり状況を確認するとともに、期末考査に向けて、更に積極的に取り組む姿勢を養う。 *「なごり雪」を弾き語りの課題曲として、全体練習、個人練習、個別指導を行い、期末考査は実技テストを行う。	・音楽の要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながらどのように表現するか、表現意図をもって取り組んでいる。 ・既習のコードでギターの弾き語りができることを実感しながら主体的に取り組んでいる。
3 学 期	創作 ・カップミュージック ・発表 鑑賞（舞台芸術） ・椿姫 等	・カップや体を使った楽曲を作る学習に取り組みます。 ・リズムやテンポ、拍や拍子を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、創作の技能を身に付けます。 ・文学作品や音楽作品に触れ、作曲家が生きていた時代の文化や人生について理解を深めます。 *学年末考査は筆記テストを行います。	・構成を理解して、イメージをもって音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表している。 ・音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、舞台芸術の特徴を理解し、それらのよさや美しさを感じながら主体的に聴いている。
取組 の ア ド バ イ ス	○授業の取組 1 個人練習・全体練習を通して自主的に学習する。 2 個別指導を積極的に受ける。 ○定期考査の勉強 1 放課後を活用して練習する。 ○その他のアドバイス 1 テレビやラジオ等でクラシックの音楽番組を鑑賞する。		
評 価 方 法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。（100点法）		
	知識・技能	ワークシート、授業における発表等をもとにして、音楽の要素を理解し、楽器の演奏の仕方や特徴が身についているか等で評価します。	
	思考・判断・表現	ワークシートをもとに、感じたことや考えたことなどを知識・技能を基に演奏を通して表現できているか等で評価します。	
	主体的に学習に取り組む態度	授業への取組・出席状況を確認するとともに、主体的に演奏を工夫し追求しようとしているか、他の楽器の音や役割を理解し、協力して演奏することができているか等で評価します。	

単位数	2	3年・生産食品科		履修	必修修・選択
教科書	Tutti+		副教材等		
学習の到達目標			授業の進め方		履修の条件・進路
諸活動を通して、音楽を創り上げる喜びを味わったり個性豊かに表現したりする能力を伸ばし、積極性を養い、自主的に取り組み活動する。			ギターの基礎練習は、全体練習と個人練習に分けて進めます。		1 美術Ⅰまたは音楽Ⅰのいずれかを選択できます。 2 音楽系進学者に適切です。

	学 習 内 容		学習のポイント	学習の到達目標
1 学 期	期末 考 査	器楽（ギター） ・音階練習 ・実技テスト 歌唱 ・見上げてごらん 夜の星を ・Tomorrow ・からたちの花 ・実技テスト	- 運指・音階等の基本練習をしっかりと行います。 - 二部合唱を通して、ハーモニーの美しさや、歌うことの楽しさや喜びを感じながら、正しい発声方法を学び、音楽を創り上げていく喜びを味わいます。 - リズム・音程・フレーズ等について正しく理解します。 *既習曲の中から任意の曲を一曲選び、実技テストを行う。	基本練習を通して、ギターの特色や音色に関心を持って取り組んでいる。
2 学 期	期末 考 査	「なごり雪」 「Summer」等 ・コード練習 ・全体練習 ・個人練習 ・個別指導 ・採譜 ・実技テスト	- 個人練習と個別指導を中心に、より積極的に学習する。 - 中間発表を通じて、お互いの仕上がり状況を確認するとともに、期末考査に向けて、更に積極的に取り組む姿勢を養う。 *「なごり雪」を弾き語りの課題曲として、全体練習、個人練習、個別指導を行い、期末考査は実技テストを行う。	- 音楽の要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気などを理解しながらどのように表現するか、表現意図をもって取り組んでいる。 - 既習のコードでギターの弾き語りができることを実感しながら主体的に取り組んでいる。
3 学 期	学年 末 考 査	創作 ・音のスケッチ ・発表 鑑賞（舞台芸術） ・キャッツ 等	- リズムやテンポ、拍や拍子を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、創作の技能を身に付けます。 - 文学作品や音楽作品に触れ、作曲家が生きていた時代の文化や人生について理解を深めます。 *学年末考査は筆記テストを行います。	- 構成を理解して、イメージをもって音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表している。 - 音楽を形づくっている要素が生み出す雰囲気などを感受しながら、舞台芸術の特徴を理解し、それらのよさや美しさを感じながら主体的に聴いている。
取 組 の ア ド バ イ ス	○授業の取組 1 個人練習・全体練習を通して自主的に学習する。 2 個別指導を積極的に受ける。 ○定期考査の勉強 1 放課後を活用して練習する。 ○その他のアドバイス 1 テレビやラジオ等でクラシックの音楽番組を鑑賞する。			
評 価 方 法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。（100点法）			
	知識・技能	ワークシート、授業における発表等をもとにして、音楽の要素を理解し、楽器の演奏の仕方や特徴が身についているか等で評価します。		
	思考・判断・表現	ワークシートをもとに、感じたことや考えたことなどを知識・技能を基に演奏を通して表現できているか等で評価します。		
	主体的に学習に取り組む態度	授業への取組・出席状況を確認するとともに、主体的に演奏を工夫し追求しようとしているか、他の楽器の音や役割を理解し、協力して演奏することができているか等で評価します。		

北高シラバス 「音楽Ⅲ」

単位数	2	音楽Ⅲ・3年	履修	必修修・選択
教科書	Joy of Music (教育芸術社)		副教材等	
学習の到達目標		授業の進め方	履修の条件・進路	
曲や演奏することと生活や社会とのかかわりを理解し、創意工夫や表現上の効果を生かした演奏表現をするために必要な技能を身に付けながら、個性豊かに演奏表現を創意工夫する。		音楽Ⅰ・Ⅱで学習したことを活かし、体系的な学習をします。基本的にはグループで活動を進めます。	1 美術Ⅰまたは音楽Ⅰのいずれかを選択できます。 2 音楽系進学者に適切です。	

	学 習 内 容	学習のポイント	学習の到達目標
1 学 期	創作 ・ 楽典 ・ オスティナート を用いて作曲	・ 基本に立ち返り、音の長さや高さ、速度記号等を学びなおします。 ・ 反復、変化、対照などの手法を用いた曲作りや、音素材の特徴を生かした作品作りを学びます。 * 期末考査は筆記テストを行います。	・ さまざまな音素材や様式、表現形態などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、表現をするために必要な技能を身に付けるとともに表現意図をもって取り組んでいる。
2 学 期	鑑賞 ・ 西洋音楽の鑑賞 バロック 古典派 ロマン派 近現代音楽	・ 中間発表を通じて、プレゼンテーション能力を身に付けるとともに、西洋音楽への関心を高めます。 ・ 文化的・歴史的背景を踏まえてさまざまな作曲家の作品を聞き、音楽のよさや美しさを深く味わいます。 * 調べ学習、まとめ、発表内容を「中間考査」として評価し、期末考査はクラシック曲も踏まえたそれぞれの時代の特徴等の筆記テストを行います。	・ 文化的・歴史的背景について理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、文化や芸術としての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。
3 学 期	表現 発表会	・ 仲間とともにさまざまな曲を演奏したり、演奏を聴き合ったりしながら、音によるコミュニケーションとして、音楽のすばらしさを味わいます。 * 発表会に向けての取組や発表会の評価を学年末考査の評価とします。	・ 曲や演奏することと生活や社会とのかかわりを理解し、創意工夫や表現上の効果を生かした演奏表現をするために必要な技能を身に付けながら、個性豊かに演奏表現を創意工夫する。
取組 の ア ド バ イ ス	○ 授業の取組 1 個人練習・全体練習を通して自主的に学習する。 2 個別指導を積極的に受ける。 ○ 定期考査の勉強 1 放課後を活用して練習する。 ○ その他のアドバイス 1 テレビやラジオ等でクラシックの音楽番組を鑑賞する。		
評 価 方 法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。(100点法)		
	知識・技能	ワークシート、授業における発表等をもとにして、音楽の要素を理解し、楽器の演奏の仕方や特徴が身についているか等で評価します。	
	思考・判断・表現	ワークシートをもとに、感じたことや考えたことなどを知識・技能を基に演奏を通して表現できているか等で評価します。	
	主体的に学習に取り組む態度	授業への取組・出席状況を確認するとともに、主体的に演奏を工夫し追求しようとしているか、他の楽器の音や役割を理解し、協力して演奏することができているか等で評価します。	

単位数	2	普通科・生産食品科1年	履修	必履修・選択
教科書	美術1（光村図書）	副教材等	なし	
学習の到達目標		授業の進め方		履修の条件・進路
美術の幅広い創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。		1 個々の作品制作による実技を中心に進めます。 2 相互鑑賞・歴史的作品の鑑賞による感想発表を行います。		美術Ⅰまたは音楽Ⅰのいずれかを選択します。

	学 習 内 容	学習のポイント	学習の到達目標
1 学期	中間 期末 文字をデザインする ○レタリング 色の特徴を知ろう 想像した世界を描く ○ニードルを使って描く メッセージを広く伝える。 ○人権ポスター	・文字の特徴や基本点画を学びます。 ・色の基本や理論と、デザインや絵画における色の役割について学習します。 ・想像したことを形であらわす工夫をします。 ・線や明暗で形を表現する方法を学びます。 ・情報を効果的に伝える表現方法や、形や色、構成について学習します。	・文字の特徴や基本点描を理解している。 ・アクリル絵の具や筆の使い方に慣れ、丁寧な制作を心がける。 ・情報を正確に伝えるために要素の取捨選択を心がけ、形や色の効果や意図に応じた用具の特性を理解している。
2 学期	中間 期末 身近なものを描く ○鉛筆デッサン 自己を表す（絵画） ○15、16歳の私	・身近なものを見つめ感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどから主題を生成し、表現の工夫や鉛筆の特性を学習します。 ・絵画や彫刻、写真など、様々な方法を学び、自己をあらわすことに関心を持ち、自分をみつめ感じ取ったことから主題を生成し、表したいイメージを表現できる工夫や表現方法を学習します。	・デッサンの基礎を学び、物を観る力が身についている。 ・自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどから創造的な表現の構想を練り、混色の工夫や補色混合、明暗法を学び、表現の技能を身に付けている。
3 学期	学年 期末 自己を表す（立体） ○首ふり人形の私	・自己を見つめ、生命感や躍動感から主題を生成し、材料やポーズ、構図などの工夫や、材料や用具の特性を学習します。	・彫刻の特性を学び、道具の使い方や表現の技能を身に付けている。
取組 の アド バイ ス	○授業の取組 1 独自の発想と展開 2 真剣な学習態度 3 教科書・準備物等の持参 ○家庭学習 参考資料の準備を確実に行う。 ○その他のアドバイス 提出物や作品は提出期限までに完成させ提出する。		
評価 方法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。（100点法）		
	知識・技能	作品やワークシート、授業における発表等をもとにして、造形の要素の働きを理解し、素材の効果や用具の使い方が身についているか等で評価します。	
	思考・判断・表現	作品やワークシート、アイデアスケッチをもとにして、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができているか等で評価します。	
	主体的に学習に取り組む態度	課題の提出状況・授業への取組・出席状況を確認するとともに、造形的な見方・考え方を働かせ、主体的に主題を生成し追求しようとしている。	

北高シラバス 「 美術Ⅱ 」

単位数	2	普通科・2年（Ⅰ型）	履修	必履修・ ☒ 選択
教科書	美術2（光村図書）		副教材等	なし
学習の到達目標		授業の進め方		履修の条件・進路
1 美術の様々な活動を通して、美術を愛好する心情を身に付ける。 2 制作の基礎的な能力、知識、鑑賞能力を伸ばし、豊かな感性を身に付ける。		1 個々の作品制作による実技を中心に進めます。 2 相互鑑賞・歴史的作品の鑑賞による感想発表を行います。		1 年次より継続の選択科目です。

	学 習 内 容		学習のポイント	学習の到達目標
1 学 期	中間 考 査	心の中の風景 ○ドライポイント	・スケッチや写真を組み合わせる表現する方法を学びます。 ・版画ならではの表現や味わいなどから主題を生成し、版表現の特性を生かし、質感や色づかいを学びます。	・身近なものを題材にスケッチする楽しさを感じ取ることができる。
	期末 考 査	問題解決のためのデザイン ○人権ポスター	・社会で起きているさまざまな問題に目を向け、形や色、素材の特徴などをもとに問題解決のためのデザインを学びます。	・構成の方法や、線や明暗による形の作り方を理解している。 ・形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、問題解決のためのデザインを、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。
2 学 期	中間 考 査	素材と向き合う	・素材の性質やよさを生かした作品に関心を持ち、発想や構想の独自性と表現の工夫を学習します。	・素材の性質を理解し制作に活かすことができる。
	期末 考 査	黄金テンペラ画風自画像	・ハッチングの技法を理解し、線を工夫して表現する方法を学びます。 ・形や模様、色遣いが感情にもたらす効果を学び、造形的な表現方法を学びます。トリック	・テンペラ画の技法を理解し、グラデーションや細密な表現をすることができる。
3 学 期	学年 末 考 査	不思議な空間を作る ○トリックアート の世界	・トリックアートの表現の楽しさを学びます。	・視覚的な揺さぶりによる表現の楽しさを理解している。
取組のアドバイス ○授業の取組 1 独自の発想と展開 2 真剣な学習態度 3 教科書・準備物等の持参 ○家庭学習 参考資料の準備を確実に行う。 ○その他のアドバイス 提出物や作品は提出期限までに完成させ提出する。				
評価 方法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。（100点法）			
	知識・技能	作品やワークシート、授業における発表等をもとにして、造形の要素の働きを理解し、素材の効果や用具の使い方が身についているか等で評価します。		
	思考・判断・表現	作品やワークシート、アイデアスケッチをもとにして、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができているか等で評価します。		
	主体的に学習に取り組む態度	課題の提出状況・授業への取組・出席状況を確認するとともに、造形的な見方・考え方を働かせ、主体的に主題を生成し追求しようとしている。		

単位数	2	3年・生産食品科	履修	必修・選択
教科書	美術2（光村図書）		副教材等	なし
学習の到達目標		授業の進め方		履修の条件・進路
1 美術の様々な活動を通して、美術を愛好する心情を身に付ける。 2 制作の基礎的な能力、知識、鑑賞能力を伸ばし、豊かな感性を身に付ける。		1 個々の作品制作による実技を中心に進めます。 2 相互鑑賞・歴史的作品の鑑賞による感想発表を行います。		1 年次より継続の選択科目です。

	学 習 内 容		学習のポイント	学習の到達目標
1 学 期	中間 考 査	人物を描く ○立体イラスト	・身近な人をイラストで表す楽しさを理解します。 ・配色や模様を工夫し、楽しく表現する方法を学びます。	・身近な人を題材にイラストにする楽しさを感じ取ることができる。 ・立体にするための変形作業ができる。
	期 末 考 査	問題解決のためのデザイン ○人権ポスター	・社会で起きているさまざまな問題に目を向け、形や色、素材の特徴などをもとに問題解決のためのデザインを学びます。	・形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、問題解決のためのデザインを、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。
2 学 期	中間 考 査	素材と向き合う ○輪ゴム銃の制作	・糸のこや道具の使い方、制作工程を学びます。 ・素材の性質やよさを生かした作品に関心を持ち、発想や構想の独自性と表現の工夫を学習します。	・道具の使い方や制作工程を理解している。 ・形の工夫や仕上げの美しさを工夫している。
	期 末 考 査	絵本の制作	・文や絵の構成方法や材料の使い方の工夫を学びます。	・物語を創作したり、色や形で効果的に表現したりすることができる。
3 学 期	学 年 末 考 査	素材と向き合う ○木製アクセサリの制作	・誰かのためのデザインを考え、材料の活かし方や工夫を学びます。	・目的意識を持って工夫がされている。 ・材料や道具の使い方を心得ている。
取組のアドバイス ○授業の取組 1 独自の発想と展開 2 真剣な学習態度 3 教科書・準備物等の持参 ○家庭学習 参考資料の準備を確実にやる。 ○その他のアドバイス 提出物や作品は提出期限までに完成させ提出する。				
評 価 方 法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。（100点法）			
	知識・技能	作品やワークシート、授業における発表等をもとにして、造形の要素の働きを理解し、素材の効果や用具の使い方が身についているか等で評価します。		
	思考・判断・表現	作品やワークシート、アイデアスケッチをもとにして、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができているか等で評価します。		
	主体的に学習に取り組む態度	課題の提出状況・授業への取組・出席状況を確認するとともに、造形的な見方・考え方を働かせ、主体的に主題を生成し追求しようとしている。		

単位数	2	3年・普通科	履修	必修・選択
教科書	美術3（光村図書）		副教材等	なし
学習の到達目標		授業の進め方		履修の条件・進路
1 美術の様々な活動を通して、美術を愛好する心情を身に付ける。 2 制作の基礎的な能力、知識、鑑賞能力を伸ばし、豊かな感性を身に付ける。		1 個々の作品制作による実技を中心に進めます。 2 相互鑑賞・歴史的作品の鑑賞による感想発表を行います。		1年次より継続の選択科目です。

	学 習 内 容	学習のポイント	学習の到達目標
1 学 期	中間 考 査 人物を描く ○立体イラスト	・身近な人をイラストで表す楽しさを理解します。 ・配色や模様を工夫し、楽しく表現する方法を学びます。	・身近な人を題材にイラストにする楽しさを感じ取ることができる。 ・立体にするための変形作業ができる。
	期末 考 査 問題解決のためのデザイン ○人権ポスター	・社会で起きているさまざまな問題に目を向け、形や色、素材の特徴などをもとに問題解決のためのデザインを学びます。	・形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、問題解決のためのデザインを、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。
2 学 期	中間 考 査 素材と向き合う ○輪ゴム銃の制作	・糸のこや道具の使い方、制作工程を学びます。 ・素材の性質やよさを生かした作品に関心をもち、発想や構想の独自性と表現の工夫を学習します。	・道具の使い方や制作工程を理解している。 ・形の工夫や仕上げの美しさを工夫している。
	期末 考 査 絵本の制作	・文や絵の構成方法や材料の使い方の工夫を学びます。	・物語を創作したり、色や形で効果的に表現したりすることができる。
3 学 期	学年 末 考 査 ものからの問いかけ ○木製アクセサリーの制作	・誰かのためのデザインを考え、材料の活かし方や工夫を学びます。	・目的意識を持って工夫がされている。 ・材料や道具の使い方を心得ている。
取組 の ア ド バ イ ス	○授業の取組 1 独自の発想と展開 2 真剣な学習態度 3 教科書・準備物等の持参 ○家庭学習 参考資料の準備を確実にやる。 ○その他のアドバイス 提出物や作品は提出期限までに完成させ提出する。		
評 価 方 法	3つの観点別学習状況の評価の達成度をもとにして、総合的に評価します。（100点法）		
	知識・技能	作品やワークシート、授業における発表等をもとにして、造形の要素の働きを理解し、素材の効果や用具の使い方が身についているか等で評価します。	
	思考・判断・表現	作品やワークシート、アイデアスケッチをもとにして、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができているか等で評価します。	
	主体的に学習に取り組む態度	課題の提出状況・授業への取組・出席状況を確認するとともに、造形的な見方・考え方を働かせ、主体的に主題を生成し追求しようとしている。	